

情報の共有化をめざしたデジタル教材の開発と活用

白石市立白石第二小学校 渡部 敬
(mail → nabetaka@human.gr.jp)

1 テーマについて

学校にインターネット接続のコンピュータが導入されている。家庭にも多く普及した。様々な情報の受信や発信が容易となった。インターネット上に、情報を発信することで、その情報は多くの人と共有することが可能となる。その環境を上手に活用したいものとする。

教材を、インターネット上で閲覧できる教材（以下、デジタル教材）として作成する。インターネットに接続できるコンピュータであれば、いちいちCD-ROMを入手しなくてもすぐに見ることができる。学校でも自宅でも見ることができる。検索サイトを使って検索することもできる。これまで以上に多くの方に活用してもらえ、共有化を図ることができる。

メールアドレスを載せておけば、参考意見や要望、感想などを聞くことができる。それらをもとにして、追加、修正し、さらにより教材として発展させることもできる。

教材を中心に据えて、情報の共有化を図ることができるのである。以上を考えてテーマを設定した。

2 開発したデジタル教材の概要

(1) ゆきんこちゃん



社会科第4学年「わたしたちの県」や、第5学年「わたしたちの国土と環境」などで発展的に活用できる教材をと考えて作成した。

地元宮城県にも、雪の多い土地は存在し、人々は雪と戦いながら、そして雪を楽しみながら生活をしている。七ヶ宿町湯原地区もその一つである。そこは、管内の、そして県内の児童にとって、比較的身近な地域でもある。身近な地域にそうした生活があることを、興味深く調べることができるような教材をと考えて作成した。

3年間の冬の様子を静止画と動画で撮影した素材を活用し、マルチメディア型の教材とした。

(2) バランスちゃん



食の教育が見直されている。個食、孤食に始まり、肥満や小児成人病など、食にまつわる問題が多く生じている。本来、食の教育(食)は、家庭において、乳幼児期から真剣に取り組むべきものである。ところが、それが望めない現実もある。

平成17年6月に食育基本法が成立し、食の教育の重要性を改めて認識する。

小学校においては、低学年のうちから、バランスよく食事を取る習慣を身につけさせたい。

ところが、すぐに使える教材はほとんど見ら

れない。そこで、三色の食べ物の働きとその種類を、提示型コンテンツと操作型コンテンツで学習させたいと考え、本教材を作成した。

(3) きぼこくん



当初は社会科第5学年「伝統的な技術を生かした工業」において、白石市の弥治郎地区のこけし作りを取り上げようと考えて作成した。現在ならば、第4学年「わたしたちの県」や、総合的な学習の時間での地元の産業の学習等の際に、多学年で発展的に活用できる教材と考えている。

弥治郎系のこけしは全国的にも有名で、「弥治郎こけし村」という施設もあり、白石市の小学生の学習対象に取り上げられることも多い。

1年間にわたり、こけし工人を取材し、静止画と動画で撮影した素材を活用し、マルチメディア型の教材とした。

(4) 漢太郎のおもしろ漢字文化教室



漢字の学習は、読みと書きの練習、漢字テストなどを中心に行われることが多い。漢字の正しい読み書きを覚えること大事な学習ではあるが、単調な繰り返しになりがちでもある。

漢字は表音文字であると共に、世界的にも珍しい表意文字でもある。漢字には、それを創り出した昔の人々の知恵がたくさん隠されている。いわば、漢字文化の世界である。

その漢字文化の面白さ、楽しさ、素晴らしさを少しでも子ども達に伝え、漢字の学習に興味を持たせ、楽しく覚えさせたいと考え、漢字文化関係のコンテンツを作成した。

たせ、楽しく覚えさせたいと考え、漢字文化関係のコンテンツを作成した。

(5) J-Map マッピー



小学校社会科の基礎的基本的な力の一つは、都道府県名とその位置を覚えることと考えている。小学生のうちしっかりと定着させて中学校に送り出したいものだ。

日本地図に親しみながら、楽しく地方名や都道府県名、その位置を覚えられるようにと考えて作成した。

単純な教材であるので、自学自習用としても活用できる。

3 最後に

共有化を図るために、「やまのこ村」において、自作したデジタル教材を公開している。御活用いただき、ご意見などいただければ、幸いです。

また、それぞれのデジタル教材の詳しい説明もPDF ファイルで載せているので、興味を持たれた方はご覧いただきたい。



(www.nabetaka/com)